

アンケートご協力いただいた方へ

近畿大学総合社会学部総合社会学科環境まちづくり専攻 野田満研究室 後藤万由子

「神戸市内の子ども食堂運営状況に関するアンケート調査」にご協力いただいた皆さま、ならびに神戸市社会福祉協議会様には心より感謝いたします。ありがとうございました。今回52 食堂さまから回答をいただきました。簡単にではありますが、アンケート結果の集計を公表させていただきます。

アンケートの内容

「【1】 あなたの運営する子ども食堂の基本情報についておうかがいします。」

「名前」「該当する区」「小学校区」「設立年月」「スタッフ数(男・女)」についての子ども食堂の基本情報についての 6 問質問しました。

「【2】 あなたの運営する子ども食堂の運営方法についておうかがいします。」

「開催頻度」「参加人数」「参加費」「食事提供にかかる「利用者 1 人あたりの」おおむねの費用」の 4 問を質問しました。

「【3】 あなたの運営する子ども食堂での食事提供やその方法についておうかがいします。」

「食材の調達方法」「献立の方針」「献立についての自由記述」「現在と今後の食事の方法」「子どもの居場所について特に重要だと思っていることと」「最後に課題に食堂が抱える課題について」「子ども食堂についての意見を自由記述」の 10 問を質問しました。

全ての質問の単純集計はこちらからご覧になれます。

URL 添付「アンケートご協力いただいた方へ」よろしければご覧ください。

https://drive.google.com/file/d/1B1IyWAvIhqX_1fIMm0FC7NqG9VgbDTlX/view?usp=sharing

■献立についての課題の紹介

【3】 「献立についての自由記述」から頂いた献立に関する自由記述を 6 つの項目に分類しました。

【1】	衛生面での配慮	1件
【2】	栄養バランスや無農薬野菜を取り入れた献立を考える。	9件
【3】	子供たちの好みや栄養バランスを考える。	6件
【4】	寄付面から献立を考える。	8件
【5】	スタッフの気持ちがかもった献立	12件
【6】	ボランティアや人的課題	10件

献立に関して自身の食堂の課題をプラスに活かしている回答を抜擢して一部掲載します。
*個々の食堂が特定されそうな場合には、加筆修正しています。課題ごとに分類しているので回答との集計の合計とは一致しません。

【3子どもたちの好みや栄養バランスを考える】*一部抜粋

(課題)：参加申込み制では無いので、毎回参加人数が分からない

(プラスに活かす)：大人数でも子ども達がお腹いっぱいになるようなメニューをつくるようにしている。

例；カレーライス、牛丼、ハヤシライス、親子丼など。

【6 ボランティアや人的課題】

(課題)：調理場の事情で、完全調理ではなく、炊飯+レトルトカレー等のあたためで食事を提供しています。

(プラスに活かす)：栄養バランスのとれた手作りの食事が提供できない代わりに、保護者が仕事で忙しい場合、1人でも食事の準備ができるように、また防災面といったところを重視しています。

(プラスに活かす)：いつも同じ物を食べることができる安心感も大切だと考えています。

■課題の紹介

最後に「最後に、これからの子ども食堂にとって必要な公的支援や制度、新たに取り組みたい活動、子ども食堂の取り組みの中で感じる悩みやご意見など、ご自由にお書きください。」という自由記述を回答していただいた。こちらは5項目に課題を分類した。

[1]	スタッフ間の課題	8件
[2]	運営に関する課題	30件
[3]	人的（利用者）に対する課題	15件
[4]	献立・寄付に関する課題	2件
[5]	その他の課題	2件

課題の二極化。

【2 運営に関する課題（広報に関する課題）】*一部抜粋

(参加者の過疎)：参加者に呼びかけをしても集まらないことが多い。なかなか集客ができていない。

(参加者の過密)：会場のキャパシティや金銭面のことを考えると参加者の人数が多くて困

っています。

自由記述から読み取れた今後、行いたい取り組み*一部抜粋

- 福祉施設等のマッチング
- 地域の企業との協力
- 体操やダンス等のレクリエーション
- お祭り

繰り返しになりますが、今回ご協力いただいた皆さま本当にありがとうございました。